

令和 3 年度 城山中学校 学校評価書

※ 網掛けのない部分が評価計画、網掛けの部分が評価結果を受けて記入する。

1 教育目標（目指す生徒像含む）

(1) 基本目標

人間尊重の教育を基盤とし、心身ともに健康で、自主的・自律的に行動し、豊かな創造力と正しい判断力を身に付け、社会の変化に主体的に対応し、国際人として世界に貢献できる日本人の育成を目指す。

(2) 具体目標

- 1 心身ともに健康で勤労を尊ぶ生徒
- 2 基盤となる学力を身に付け、自ら学ぶ意欲を持つ生徒
- 3 礼儀正しく、責任を重んじ、心情豊かな生徒
- 4 主体的で創造性に富み、個性豊かな生徒
- 5 文化や伝統を尊重し、国際社会に貢献できる生徒

(3) 生徒の信条

「強く、賢く、美しく」

2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

地域と密着した教育活動を展開しながら、互いに学び合い高め合う集団を形成し、すべての生徒が自己有用感を味わえる学校づくりを推進する。

3 学校経営の方針（中期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針は文頭に○印を付ける。

- (1) 新学習指導要領に基づき、学力の定着と向上を図るとともに、基本的生活習慣の確立と規範意識の醸成、目標に向かって粘り強く取り組むことが求められる活動等を通して、豊かな心と健やかな体を育む教育を推進する。〈生徒〉
- (2) 互いに高め合い、学び合う協働的な同僚性の育成と、研修への積極的参加による指導力と専門性の向上、並びに組織的対応による職員の負担軽減と業務の効率化を図る。〈教職員〉
- (3) ○義務教育の連続性を重視して小中間の連携強化を図り、地域人材・地域教材を有効に活用して地域貢献活動・地域交流活動等の教育活動を推進する。〈小中一貫教育・地域学校園〉

〔 城山地域学校園教育ビジョン 〕 ともに学び合う城山っ子を育む地域学校園

4 教育課程編成の方針

関係法令、県学校教育振興ビジョン、市学校教育スタンダードや指導の重点に基づき、生徒が社会の変化に向き合い適切に対応していくため、学校教育を通して育むべき資質・能力を明確にし、それらを生徒が確実に身に付けることができるよう教科等の関連を図り、バランスの取れた教育課程の編成に努める。また、地域の教育資源や外部指導者の活用及び魅力ある学校づくり地域協議会や保護者等との連携を図った、地域に根ざした豊かな体験活動を教育課程に位置づける。

5 今年度の重点目標（短期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○印を付ける。

- 【 学 校 運 営 】○一人一人のよさを認め、励まし、称賛して更に伸ばす指導の充実○地域の教育力、小中の連携を生かした教育活動の推進・目標に向かって粘り強く取り組む力を育む教育活動の工夫・全職員の学校経営参画意欲の向上・組織的対応及び業務の効率化等による働き方改革の推進
- 【 学 習 指 導 】・「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善・学習目標の明確化と、定着のための振り返りの充実・読解力向上に向けた読書活動の充実・学習習慣の定着を目指す指導の充実○主権者教育との関連を図った「宇都宮学」の推進
- 【 児 童 生 徒 指 導 】・規範意識の醸成・自己有用感を高める指導の充実○認め合い助け合う集団づくりによるいじめ等問題行動の未然防止
- 【健康（体力・保健・食・安全）】・体力向上を目指す工夫を凝らした教育活動の展開・健康（感染症対策）と食の安全確保のための衛生管理、施設点検の充実・栄養教諭を核とした望ましい食習慣の育成○家庭・地域・行政と連携して実施する危険予測・回避能力育成のための指導の充実

6 自己評価（評価項目のAは市共通、Bは学校独自を示す。）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所の下線を付ける。

※「主な具体的な取組」の方向性には、A拡充 B継続 C縮小・廃止、を自己評価時に記入する。

項目	評価項目	主な具体的な取組	方向性	評価
目 指 す 生 徒 の 姿	A 1 生徒は、進んで学習に取り組んでいる。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 90%以上	① 学力調査等の結果を分析し、生徒の学習における課題を明確にした上で、自分の意見の根拠をきちんと述べて発表するなど、中身を深めた質の高い話し合い活動の機会を増やす。 ② ふれあい文化教室や大谷石加工体験学習などの外部講師による授業や、自分の考えを書いたり話し合ったりする活動を効果的に取り入れた授業などにより、生徒の思考力・判断力・表現力等を高める。	B	【達成状況】 ・生徒の肯定的回答は92.6%と指標を上回ったが、昨年度より1.4%下回っている。 【次年度の方針】 ・次年度も話し合い活動の機会を設け、生徒が意欲的に取り組み、また自分の意見の根拠をきちんと述べて発表するという姿勢を育てていきたい。
	A 2 生徒は、思いやりの心をもっている。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 90%以上	① 冒険活動教室や職場体験学習等の、人・自然・社会との関わりを通じた体験活動の充実を図り、豊かな心を育成する。 ② 道徳、学級活動の時間を中心に、お互いの良いところを見つけ、認め合う活動を意図的に取り入れるなど、「ありがとう」という感謝の言葉が自然に出るような支持的な雰囲気を醸成する。	B	【達成状況】 ・生徒の肯定的回答は94.7%で昨年度より2.1%上回り、目標数値を超えた。 【次年度の方針】 ・道徳、学級活動の時間を中心に、相互に認め合う場面を意図的に作りながら指導していくことで、お互いに尊重し合う心を育成する。
	A 3 生徒は、きまりやマナーを守って、生活をしている。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 85%以上	① 定期的に、服装・身だしなみチェックを行い、生徒自身で自分の生活を振り返らせるとともに、学年集会等で全体に対して指導する方法を工夫し、自己管理能力の育成を図る。 ② 職員間で共通理解を図り、全生徒を全職員で指導する体制を確立する。また、日ごろから全教職員による目配りを行い、きまりやマナーを適時適切に指導する。	B	【達成状況】 ・生徒の肯定的回答は90.9%で数値指標を上回ったが、昨年度と比べて3.1%下がった。 【次年度の方針】 ・定期的な、服装・身だしなみチェックを行う際に、マンネリにならないよう生徒への意識付けをしっかり行う。 ・日ごろから全教職員による目配りを行い、きまりやマナーを守れなかった場合は、すぐに指導をする。そのために、職員間で共通理解を図り、全生徒を全職員で指導する体制を確立していく。
	A 4 生徒は、時と場に応じたあいさつをしている。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 95%以上 地域住民の肯定的回答 90%以上	① 地域学校園内の小学校や地域協議会と連携した「あいさつ運動」を工夫・充実させ、さらに活性化させる。 ② あいさつ運動を引き続き地域協議会と連携を図りながら、生徒会活動に位置付けて計画的に行いながら、良い事例を称賛し、学校内での教育活動だけでなく、校外活動でもしっかりしたあいさつができるよう一人一人の意識の高揚を図る。	B	【達成状況】 ・生徒の肯定的回答は96.1%であり、数値指標を上回っている。地域住民の肯定的回答が100%に上がり、目標指標は引き続き上回っている。 【次年度の方針】 ・地域学校園内の小学校や地域協議会と連携した「あいさつ運動」に加え、校内での実施を生徒会活動に位置づけて計画的に行う。校外活動においても気持ちの良いあいさつができるよう、一人一人の意識の高揚を図る。

<p>A5 生徒は、目標に向かってあきらめずに、粘り強く取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】 生徒の肯定的回答 85%以上</p>	<p>① 学校行事や部活動などにおける困難を乗り越える体験を通して、「褒めて伸ばす」「一人一人を生かす」指導を継続するとともに、苦手意識や不安感等がある生徒には個に応じた目標を設定させたり、自分に自信のある生徒には、役割を与えるだけでなく自分のできる役割を考えさせたりすることで、達成感や自己有用感を味わわせ、目標に向かってあきらめずに粘り強く取り組む態度を育む。</p>	<p>【達成状況】 ・生徒の肯定的回答は87.0%で、昨年度より3%上回り、目標指標を上回っているが、教職員評価が低く71.9%である。 【次年度の方針】 ・生徒が自らの能力を発揮できる場を作ることによって、褒められ、認められる機会を増やし、自信をもたせることで、自己肯定感を育む。また、「苦手」「不安」としていることが明確な生徒に対しては、目標を設定させ、それに向かって頑張る態度を育てる。</p>
<p>A6 生徒は、健康や安全に気を付けて生活している。</p> <p>【数値指標】 生徒の肯定的回答 90%以上</p>	<p>① 保健体育の授業で、補強運動を工夫して取り入れ体力の向上を図る。 ② 運動に対する意識の向上と運動習慣の定着のため、元気っ子チャレンジへの参加を継続する ③ 交通安全教室、避難訓練等を通して、適切な意思決定や行動選択ができるようにする。</p>	<p>【達成状況】 ・生徒の肯定的回答は94%で、昨年度よりも1.7%下回っている。数値目標は達成している。 【次年度の方針】 ・健康安全について、左記取組を引き続き継続し、全職員体制で指導していく。また、外部機関との連携も積極的に取り入れていくようにする。</p>
<p>A7 生徒は、夢や目標をもって、社会に貢献できるよう努力している。</p> <p>【数値指標】 A5と同じ</p>	<p>① 学級活動(3)イ「社会参画意識の醸成や勤労観・職業観の形成」や、道徳C(12)「社会参画・公共の精神」の学習等を工夫し、自分の将来の夢や進路等について考えさせたり、学級活動で一人一役を与え、その活動を褒めたりするなど、社会貢献への意欲を高める。</p>	<p>【達成状況】 ・生徒の肯定的回答は87.0%で、昨年度より3%上回り、目標指標を上回っている。 【次年度の方針】 ・学級活動や清掃活動等あらゆる機会をとおして、社会貢献への意欲を高めるとともに、スキル学習（電話がけ・話し方・調査したことのまとめ方・PC・もてなし方など）をより充実し、自信を持って校外の活動に出られるように指導していく。</p>
<p>A8 生徒は、英語を使ってコミュニケーションしている。</p> <p>【数値指標】 生徒の肯定的回答 85%以上</p>	<p>① 英語の授業でALTを効果的に活用するとともに、給食の時間や昼休みなどにも生徒とALTがコミュニケーションを図る機会を増やししながら、積極的に話している場面を見た教員が認め励ますなどして、英語力を向上させる。</p>	<p>【達成状況】 ・生徒の肯定的回答は88.8%と数値指標を上回っている。 【次年度の方針】 ・現在の状況を見ると難しいところもあるが、以前も好評であった給食時のALTによる放送などを取り入れていくようにする。</p>
<p>A9 生徒は、宇都宮の良さを知っている。</p> <p>【数値指標】 生徒の肯定的回答 80%以上</p>	<p>① ふるさと学習で学年ごとのテーマを設定し、環境や地域文化財、産業、福祉等について学習を行い、郷土の良さを知るとともに、愛情と誇りをもたせるようにする。 ② 朝の会や教科等の授業の中で関連する内容を学ぶ際に、宇都宮や地域の行事・活動だけでなく、宇都宮学を活用し、大谷石文化を積極的に紹介したりする。 ③ 80.9%という生徒の肯定的回答と、62.2%という保護者の回答の乖離を埋めるため、各種たよりや保護者会等での情報発信に努める。</p>	<p>【達成状況】 生徒の肯定的回答は83.5%であり数値指標を上回っている。 【次年度の方針】 ・ふるさと学習の学年テーマに沿った学習が行えるよう、協力していただける団体や人材の発掘に努める。 ・宇都宮学や道徳の授業も利用し、生徒が郷土に対して愛情や誇りをもてるよう、宇都宮や地域の行事や活動を積極的に紹介する。 ・保護者の肯定的回答の数値が昨年度より11.2ポイント増加し73.4%になった。引き続き、生徒の活動について各種便りや保護者会等での情報発信に努める。</p>

	<p>A10 生徒は、ICT機器や図書等を学習に活用している。</p> <p>【数値指標】 生徒の肯定的回答 80%以上</p>	<p>① タブレット型パソコンを授業に取り入れる方法を研究し、教室でのグループの話合い活動などに積極的に活用する。</p> <p>② 図書室の利用を教科等の年間指導計画に位置づけ、計画的に図書等を学習に活用する機会を設ける。</p>	<p>【達成状況】 ・生徒の肯定的回答は82.8%で昨年度よりも7.3%上回り、指標も達成している。</p> <p>【次年度の方針】 ・タブレット型パソコンについては積極的な活用を続けていく。また図書室の利用についても各教科等でも活用の仕方について検討を重ねていく。</p>
	<p>A11 生徒は、高齢者に対する感謝やいたわり的心をもっている。</p> <p>【数値指標】 A2と同じ</p>	<p>① 城山あったか活動だけでなく、道德等の学習や外部講師による認知症サポーター養成講座を実施することなどをおして、高齢者への理解を深め感謝やいたわり敬う心を育む。</p>	<p>【達成状況】 ・生徒の肯定的回答は94.7%で数値指標を上回っている。</p> <p>【次年度の方針】 ・高齢者の苦労や高齢者福祉施設の課題、高齢化社会の課題等を事前に調べ、自分のできることをシミュレーションさせた上、城山あったか活動や認知症サポーター養成講座に参加させたい。</p>
	<p>A12 生徒は、「持続可能な社会」について、関心をもっている。</p> <p>【数値指標】 生徒の肯定的回答 75%以上</p>	<p>① 教科や領域の学習において理解した「持続可能な社会」の実現に向けて具体的な手立てを考えさせるとともに、専門委員会などの活動を通して実行していく。</p>	<p>【達成状況】 ・生徒の肯定的回答は78.2%と昨年度より7%上回っており、指標も達成している。</p> <p>【次年度の方針】 ・1年「SDGsを学ぼう」2年「SDGsと城山地区の課題を繋げよう」3年「SDGsの活動を発信しよう」の目標に向け、専門委員会やふるさと学習などを通して、持続可能な社会について学ぶ機会を設ける。</p>
	<p>B1 生徒は、健康の維持増進に気を配っている。</p> <p>【数値指標】 生徒の肯定的回答 90%以上</p>	<p>① 保健体育委員が中心となって、手洗い・うがいチェックの方法を工夫して実施するとともに、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、全職員が手洗い等の指導を徹底する。</p> <p>② 保健だよりに、時期に応じた健康課題や生徒の活動の様子を掲載するなど、内容の工夫・充実に努める。</p>	<p>【達成状況】 ・生徒の肯定的回答は95.8%で、昨年度よりも1%下回っているが、指標は達成した。</p> <p>【次年度の方針】 ・養護教諭と生徒が中心となって、十分具体的に取り組めた。次年度に向けて、継続して実施していけるよう計画を見直していく。</p>
	<p>B2 生徒は、朝の読書等により、読書の楽しさを味わっている。</p> <p>【数値指標】 生徒の肯定的回答 85%以上</p>	<p>① 朝の読書の時間等の確保に努め、落ち着いた雰囲気できちんと取り組むことができるようにする。</p> <p>② 外部講師によるブックトークや読み聞かせを年間予定に組み込む。</p> <p>③ 図書委員による本の紹介活動等の読書の楽しさを共有する機会を継続、充実させる。</p>	<p>【達成状況】 ・生徒の肯定的回答は80.7%で昨年より向上したが数値指標には届いていない。</p> <p>【次年度の方針】 ・朝の読書には落ち着いて取り組んでいたが、本の紹介や図書室の利用の仕方など、図書委員会等の活動を通じてその機会を増やして、隙間時間での読書を進めていく。</p>
<p>目指す学</p>	<p>A13 教職員は、特別な支援を必要とする生徒の実態に応じて、適切な支援をしている。</p> <p>【数値指標】 教職員の肯定的回答 90%以上</p>	<p>① 生徒指導教育相談部会や学年会議等において、特別な支援が必要な生徒の実態把握・情報共有に努め、特別支援教育コーディネーターを中心に関係教職員や関係機関等と連携を図り、適切な支援を行う。</p>	<p>【達成状況】 ・教職員の肯定的回答の割合は100%と数値目標を上回っている。</p> <p>【次年度の方針】 生徒指導部会等、各種会議において、生徒の実態把握・情報共有に努める。また、特別支援教育コーディネーターを中心に関係教職員等と連携を図り、適切な支援を行う。</p>

校 の 姿	<p>A14 教職員は、いじめが許されない行為であることを指導している。</p> <p>【数値指標】 生徒の肯定的回答 95%以上</p>	<p>① 授業やあらゆる場面でいじめが許されない行為であることを指導するとともに、いじめゼロ強調月間を利用していじめ問題を扱った道徳の授業を実施する。</p> <p>② いじめについてのアンケートを実施するとともに、全職員で生徒の行動を見守り、情報の共有化を図りながら、適切な指導や支援を行う。</p>	A	<p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒の肯定的回答は94.4%で、数値指標0.6%下回っている。 <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校生活のあらゆる場面で、いじめが許されない行為であることを指導する。全職員の行動連携を図り、生徒の行動を見守るとともに、学校での取組を保護者に周知することを通して、安心して登校できる環境を整える。
	<p>A15 教職員は、不登校を生まない学級経営を行っている。</p> <p>【数値指標】 生徒の肯定的回答 90%以上</p>	<p>① 授業や行事、普段の学校生活の中で、一人一人が活躍できる場面や役割を用意し、その取組の成果を認め、励ます指導を行い、自己有用感・自尊感情を育む。</p>	B	<p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒の肯定的回答は96.1%で、昨年度よりも2.8%上回り、数値指標も上回っている。 <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「褒めて伸ばす指導の充実」を全職員で共通認識のもと、継続する。普段の生活や学校行事で、一人一人が活躍できる場面や役割を用意し、認めることを増やすことで、自己有用感を育む。
	<p>A16 教職員は、外国人児童生徒等の実態に応じて、適切な支援をしている。</p> <p>【数値指標】 A13と同じ</p>	<p>① 日本語での会話や読み書きが十分ではない外国人生徒が在籍したときは、日本語指導及び学校生活適応について、状況に応じて関係機関等と連携を図りながら適切な支援を行う。</p>	B	<p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本年度、該当する生徒の在籍はなかったが、A13においては100%と数値目標を上回っている。 <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外国人生徒が在籍したときは、日本語での会話や読み書きが身に付くよう、日本語指導及び学校生活適応についてチーム支援する。
	<p>A17 学校は、活気があり、明るくいいきとした雰囲気である。</p> <p>【数値指標】 生徒の肯定的回答 90%以上</p>	<p>① 生徒一人一人が生き生きと活動し、学校生活に満足感を得られるよう、「褒めて伸ばす指導」を推進する。</p> <p>② 授業や学校行事、生徒会活動等とおし、生徒が主体的に活動できる場を意図的に設定する。</p>	B	<p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒の肯定的回答は84.2%と、数値指標を5.8%下回った。 <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・終わりの見えないコロナ禍ではあるが、十分な対策を講じたうえで、多くの生徒が活躍できるように、学校行事等の実施方法を工夫する。また、生徒一人一人が自己肯定感を高められるように、褒めて伸ばす指導を継続する
	<p>A18 教職員は、分かる授業や生徒にきめ細かな指導を行い、学力向上を図っている。</p> <p>【数値指標】 生徒の肯定的回答 90%以上</p>	<p>① 「自分の考えを書いてまとめる等、思考力・判断力・表現力の育成」に重点を置き、さらに読解力を身につける授業改善に積極的に取り組む。また一人一授業を継続し、お互いのアイデアを参考により良い授業を目指していく。</p> <p>② 単元末テストや小テストを計画的に実施するとともに、生徒がワークブック等に意欲的に取り組める方策を検討し、基礎・基本の定着を図る。</p>	B	<p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒の肯定的回答は90.5%と昨年度より2.6%上回り、指標も達成した。 <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えをまとめる点については例えば数学の証明など、自分の言葉で論理的に考えて判断していくといった力が弱い。 ・学力をつける必要性については意識させて入るがなかなか浸透していかない。もう一度基礎・基本に立ち返って進路等も含めながら考えさせていきたい。 ・教科部会をまめに計画し、お互いの授業で

	<p>③ 「学力を付けることの必要性」に対する生徒の意識の差が大きいことなどから、教科等で生徒の興味・関心が高い学習から社会につながっていることに気づかせ、学ぶ意義を理解させるよう努める。</p>	<p>の取り組みやアイデア等を参考により良い授業を目指していく。</p>
<p>A 19 学校に関わる職員全員がチームとなり、協力して業務に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】 教職員の肯定的回答 90%以上</p>	<p>① 学校の組織力を強化するため、校務分掌や委員会所属等に配慮し、教育活動の充実を図る。</p> <p>② 朝の打合せ、日報、資料の回覧、職員会議等での情報交換・共有に努めるとともに、担当教員を中心として、コミュニケーションを図り、計画的に情報交換の機会を設ける。</p>	<p>【達成状況】 教職員の肯定的回答は100.0%であり、数値指標を上回っている。お互いに支援し合い、コミュニケーションを密にしようという意識が高い。</p> <p>【次年度の方針】 ・職員の経験、適性、専門性、希望等を考慮しながら校務分掌、委員会所属を検討する。 ・朝の打合せ、日報、資料の回覧、職員会議等での情報交換・共有に努めるとともに、行事の精選は引き続き進めていく。</p>
<p>A 20 学校は、教職員の勤務時間を意識して、業務の効率化に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】 教職員の肯定的回答 80%以上</p>	<p>① ミラタイムによる出退勤時刻の入力を徹底し、勤務時間を意識した働き方を実践する。</p> <p>② 市部活動方針に基づき、休養日等を適切に設定し、運用を徹底する。</p> <p>③ 各種団体からの研修会参加依頼やコンクール等への出品依頼等を精選する。</p>	<p>【達成状況】 教職員の肯定的回答は81.3%であり、数値指標を上回っている。</p> <p>【次年度の方針】 ・ミラタイムへの出退勤時刻入力を徹底し、勤務時間を意識した働き方を目指す。 ・市の部活動方針の運用を徹底する。 ・教育課程の編成は、業務の効率化、精選の視点も考慮する。 ・行事等の計画において、業務内容の偏りが無いような分担に努める。</p>
<p>A 21 学校は、「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている。</p> <p>【数値指標】 生徒の肯定的回答 90%以上</p>	<p>① 小中一貫教育主任、部長、分科会長を中心として、小中の教職員間のよりよい連携・協力体制を築く。</p> <p>② 小中が連携した取り組みに加え、小中の教職員の連携についても各種たよりや保護者会等で情報発信に努めるとともに、朝の会、帰りの会等で生徒に情報提供をする。また、児童生徒の作品交流等、状況に応じた対応を検討し、実施する。</p>	<p>【達成状況】 生徒の肯定的回答は60.7%で数値指標を29.3ポイント下回っている。新型コロナウイルス感染症対策のため、児童生徒が直接連携した取組がほとんどなかったためと思われる。</p> <p>【次年度の方針】 ・小中が連携した取り組みに加え、小中の教職員の連携についても各種たよりや保護者会等で情報発信に努める。また、地域への情報発信も進める。 ・上記の内容について朝の会、帰りの会等で生徒にも情報提供をする。 ・児童生徒の作品の交流やパソコンでの交流も検討していく。</p>
<p>A 22 学校は、地域の教育力を生かした特色ある教育活動を展開している。</p> <p>【数値指標】 保護者の肯定的回答 85%以上</p>	<p>① 地域の特色である大谷石文化について、大谷石加工体験学習を始めとする郷土学習や宇都宮学などをおして深く学ばせる。</p> <p>② ふるさと学習で地域の方々から地域の特色を体験的に学習する。</p>	<p>【達成状況】 保護者の肯定的回答は89.3%で数値指標を4.3ポイント上回っている。</p> <p>【次年度の方針】 ・担当学年、地域連携教員を中心に大谷石加工体験学習の内容、方法、時期などについて改善を図っていく。 ・「ふるさと学習」を継続する。</p>

	<p>A23 学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、よりよい生徒の育成に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】 A22と同じ</p>	<p>① 外部講師を招いての喫煙・飲酒・薬物乱用等の防止教室や、保健・安全・福祉等の講座を検討・実施する。</p> <p>② 地域連携教員と地域コーディネーターを中心に、魅力ある学校づくり地域協議会と連携し、外部人材の協力を得た活動の検討と人材の発掘に努める。</p>	<p>【達成状況】 保護者の肯定的回答は89.3%で数値指標を4.3ポイント上回っている。魅力協による放課後学習室（地域未来塾）の開設、ギャラリーの地域の方の作品展示などの取組が生かされている。</p> <p>【次年度の方針】 ・学年の実態や意向を踏まえ、外部講師を招いての喫煙・飲酒・薬物乱用の防止教室や歯科講話・性教育講座・デートDV、SNS等の被害防止講座、認知症研修者養成講座等を検討・実施する。 ・教職員の要望をとらえ、地域連携教員、地域コーディネーター、魅力協と連携・協力しながら活動内容を検討し人材の発掘に努める。 ・魅力協の活動の周知を図る。</p>
	<p>A24 学校は、利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている。</p> <p>【数値指標】 教職員の肯定的回答 90%以上</p>	<p>① 毎月の安全点検を確実に実施し、対処が必要な部分は適切に処理する。</p> <p>② 災害・事故等緊急事態に適切に対応できるようにするため、職員間での連携・共通理解を徹底していく。</p>	<p>【達成状況】 ・教職員の肯定的回答は96.9%で、昨年度よりも3.1%下回っている。</p> <p>【次年度の方針】 ・月の安全点検に限らず、災害・事故等緊急事態に迅速かつ適切に対応できるようにするため、職員間の共通理解を徹底していく。</p>
	<p>A25 学校は、学習に必要なICT機器や図書等を整えている。</p> <p>【数値指標】 A10と同じ</p>	<p>① 全生徒に配付されたタブレット型パソコンについて、全教職員が情報交換を図りながら、有効活用を努める。</p>	<p>【達成状況】 ・生徒の肯定的回答は82.2%と昨年度より7.3%上回っている</p> <p>【次年度の方針】 ・タブレット型パソコンを使っている生徒に対して、利便性ととも危険な面も含んでいるということも認識させながら有効活用をしていく。</p>
<p>本校の特色・課題等</p>	<p>B3 地域を愛する心や地域に貢献しようとする態度が身についている。</p> <p>【数値指標】 生徒の肯定的回答 90%以上</p>	<p>① 城山あったか活動やふるさと学習等の体験を通して、地域社会の一員として自分にできることを考えようとする態度を育てる。</p> <p>② 地域の行事やボランティア活動等について生徒に情報提供し、積極的な参加を促していく</p>	<p>【達成状況】 生徒の肯定的回答は90.2%であり数値指標を上回っている。地域に出たふるさと学習はできなかったが、城山あったか活動は地域に出た実施できたためと思われる。</p> <p>【次年度の方針】 ・城山あったか活動は自治会単位の縦割り班で各自自治体と協力しながら地域貢献活動を行う。 ・地域の行事やボランティア活動等について生徒に情報提供し、積極的な参加を促していく。</p>

〔総合的な評価〕

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

- ・ 数値指標については、ほとんどの項目で上回っており、概ね目標に達したと考えられる。
- ・ 市内中学校平均との比較から考えると、半数以上が市平均を上回り、また、本校前年度比から考えると、上回りと下回り項目は約半々ではあるものの、両方とも、下回った項目で90%以上を保っている項目や、下回り率5%未満の項目がほとんどであり、充実した教育活動が展開されていると考えてもよいと思われる。
- 特に「宇都宮の良さ」の項目が教職員、保護者、地域住民、児童生徒すべてにおいて市平均及び前年度比より上回っている。日本遺産である大谷石文化のホームグラウンドである城山地区の学校として、例年実施している「ふるさと学習」「あったか活動」「大谷石加工体験」等、地域に根付いた活動が本校の強みである。
- しかし、昨年度からのコロナ禍により、「小中一貫・地域学校園」の項目について、教職員や保護者、地域住民からの一定数の評価があるのに対し、児童生徒評価の低さが見られる。
- ・ また、児童生徒の粘り強さに関する評価においては、昨年度は教職員評価が低かったのに対し、保護者と児童生徒評価が高く、乖離が見られたが、今年度は保護者の評価も教職員の評価に近づき、低くなりつつある。

7 学校関係者評価

- ・ 職場体験学習やあったか活動、登下校などにおいても元気よくあいさつをしてくれて、とても気持ちがよい。
- ・ きめ細かで一人一人を大切にされた指導については、教職員と生徒の評価が高く、学校のチーム力の高さを感じる。
- ・ 重点項目であるSDGsやICT機器が全体的に高評価を得ていることについては、教職員と生徒、保護者のベクトルが合っている証拠だと感じる。
- ・ コロナに伴う低評価の部分については致しかたないと考え、できる範囲で前向きに取り組み続けるしかない。地域としてもできる限りの協力をしたい。
- ・ 不登校対策については、小中の連携を強化したい。
- ・ 宇都宮の良さや地域に関する評価が高いことについては、協力してきたことが認められ、素直にうれしく感じる。他県に誇れる大谷石文化のみならず、自然の豊かさや、盛んな農畜産業等をとおして、生徒の健全育成に貢献したい。

8 まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

- ・ アンケートの結果から、令和3年度の学校経営については概ね良好であり、目指す生徒像に迫る教育を推進できたと考えられる。
- 一方で、令和2年度同様、3年度においても新型コロナウイルス感染症防止の対応のため、活動が制限されたことによる評価不足が見受けられる。また、生徒のみならず、学校全体の活動が停滞せざるを得ない状態になっている。しかし、コロナ禍であったとしても、生徒にとっては貴重な中学校生活の1年間であることから、現状で最大限の教育効果を生み出すために、教職員、保護者、地域住民が一体となり、有効な教育的活動を展開していく必要がある。
- 特に、本校の強みである地域に根ざした教育の展開への重点化を継続し、充実した教育活動を展開していく。
- ・ また、本校の最大の課題と言ってもいい「児童生徒の粘り強さ」については、児童生徒自らの高い自己評価に対し、保護者評価が教職員評価に近づきつつある現状を好機と捉え、家庭と連携しながら、授業を始めとするあらゆる機会を捉え、何事にもあきらめず、粘り強く取り組む生徒育成を目指す。